

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
440007	XY3440007	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
ベンチャービジネス	藤田 美幸			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	3年
情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	3年				
授業目的							
「起業とは何か」について考えます。 1990年代以降、日本では廃業率が開業率を上回っています。日本の新規開業率は1950年代約30%でしたが、バブル経済破綻以降は約3%が常態化しています。OECD加盟国の中で日本の起業活動は下位です。 また成熟社会となった昨今では、大量生産には限界があり倒産件数も増加し失業率も高まっています。 その解決策のひとつとして、日本では政策の後押しもあり創業支援やベンチャー支援が盛んにおこなわれるようになり起業が活発化しています。 本講義では起業に関する学術的研究を概説します。具体的には、「起業」を取り巻く社会的・文化的・制度的・経済的要因についてケーススタディを用いて考えます。またアントレプレナー（起業家・企業家）をお招きし、ベンチャービジネスの実情についても学びます。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】イントロダクションー講義のガイダンス、ベンチャービジネスの講義内容ー 【前・後】当日配布資料の復習をする				第9回 【授】ゲストスピーカー④ アントレプレナーシップについて学ぶ *都合により変更の可能性あり 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する			
第2回 【授】起業をめぐる環境要因1ー社会的・文化的要因ー 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第10回 【授】ゲストスピーカー⑤（予定：INJEX社、CEO Jim FUKUSHIMA氏）アントレプレナーシップについて学ぶ *都合により変更の可能性あり 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する			
第3回 【授】起業をめぐる環境要因2ー経済的要因ー 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第11回 【授】ビジネスプランの作成方法ーグループ分けー 【前・後】当日配布資料を熟読する			
第4回 【授】起業家論ーアントレプレナーシップ（起業家精神）に関する研究 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第12回 【授】ビジネスプランの作成 1ーグループ別ー 【前・後】グループ別に分かれ、ビジネスプランの討議と作成			
第5回 【授】ゲストスピーカー① アントレプレナーシップについて学ぶ *都合により変更の可能性あり 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第13回 【授】ビジネスプランの作成 2ーグループ別ー 【前・後】グループ別に分かれ、ビジネスプランの討議と作成			
第6回 【授】ゲストスピーカー② アントレプレナーシップについて学ぶ *都合により変更の可能性あり 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第14回 【授】発表1（グループ別）ープレゼンテーション 【前・後】グループ別に分かれビジネスプランの再考			
第7回 【授】起業をめぐる支援ー日本の政策ー地域経済振興と起業支援 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第15回 【授】発表2（グループ別）ープレゼンテーション 【前・後】グループ別に分かれビジネスプランの再考			
第8回 【授】ゲストスピーカー③ アントレプレナーシップについて学ぶ *都合により変更の可能性あり 【前・後】前回までの講義ノートの見直し、および当日配布資料を熟読する				第16回 【授】発表3（グループ別）ープレゼンテーション 【前・後】グループ別に分かれビジネスプランの再考			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	10	10	10				30
授業態度・授業への参加		10	10				20
成果発表（口頭・実技）	10	10	10	10	10		50
演習							
その他							
教科書参考書							
教科書はありません。配布する資料とレジュメを用います。 【参考文献】 柴田 英寿『アントレプレナーシップ論講座-みんな、心に、起業家精神!』日刊工業新聞社、2013年 忽那憲治他著『アントレプレナーシップ入門』有斐閣ストゥディア、2013年 三井逸友編『21世紀中業企業の発展過程』同友館、2012年							
受講に当たっての留意事項							
授業では、知識や理論のインプット学習と、グループに分かれバーチャルでビジネスプランを作成・発表するアウトプット学習により理解を深めます。 アントレプレナーのゲストスピーカーをお招きします。遅刻厳禁かつ私語厳禁。社会人としてマナーに反しますので 5 分遅刻の場合は入室はできません。また途中退出も認めません。							
学習到達目標							
日本の起業の現状、起業をめぐる研究の展開と支援制度について理解することを目標とします。 また身近なケーススタディを用いて起業の視点を獲得することを目標とし、卒業後も社会人として活動するためのひとつのツールとして担うようにします。							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：I							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習